

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人白寿会

事業概要

プレミア扇（東京都足立区扇 1-3-5） 平成 18 年 2 月開設

特別養護老人ホーム（全室個室ユニット型）	96 名
短期入所	9 名
デイサービス	30 名
運動リハビリ強化型デイサービス	20 名（10 名×2）
訪問介護	
居宅介護支援	
人材育成等事業	

プレミア草加南（埼玉県草加市柳島町 890-4） 平成 26 年 4 月開設

地域密着型特別養護老人ホーム（全室個室ユニット型）	29 名
短期入所	10 名
グループホーム	18 名
居宅介護支援	
生計困難者への相談支援事業	

プレミア東松戸（千葉県松戸市紙敷 297-2） 平成 29 年 3 月開設

特別養護老人ホーム（全室個室ユニット型）	70 名
特別養護老人ホーム（従来型多床室）	30 名
短期入所	10 名
デイサービス	30 名
居宅介護支援	

まなびぐら新座保育園（埼玉県新座市東 1-12-4） 令和 2 年 4 月開設

認可保育所	89 名
-------	------

1 概要

令和3年度も、前年度から継続する新型コロナウイルス感染対策下での事業運営となりました。とりわけ、プレミア扇、プレミア東松戸では本年2月前後にクラスターが発生し、ご利用者は勿論のこと、職員ならびに施設運営にも多大な負担が生じることとなりました。その間、ショートステイなど一部のサービスを休止したこともあり、財務的にも年度当初の計画には到達しない結果となりました。感染状況に落ち着きが見られてきてはいるものの、今年度を教訓とし、事前対策および感染発生時の対応について、引き続き注力していかなくてはなりません。

また本年度は、介護保険改正年度でもありました。収支的な影響はさほどなく、これからの時代における介護サービスの在り方について検討を要する改正内容といえます。各事業所において、様々な取り組みを進めているものの、介護ロボットの活用による職員負担、配置の軽減やLIFEの活用によるサービスの改善といった具体的な成果につながるレベルまで、今後は深化させていく必要があります。

今後の事業展開も見据え、中核人材の育成を中期的なテーマとしていますが、プレミア東松戸を筆頭に職員の確保定着にとどまっています。更なる人材不足が予想され、職員の定着育成をマネジメントしうる人材を育成することが令和4年度も引き続き重要なテーマとなります。一方で、外国人雇用の一連のプロセスを内製化することも進めており、技能実習1期生を自社管理の下、特定技能に転換するなど、おおよその流れが出来てきています。

社会福祉連携推進法人に関する取り組みとしては、正式な制度施行に先立ち、関連法人との業務集約を進めており、令和3年度は特定の業務について仕組みを確立することが出来ました。令和4年度に連携推進法人設立を行い、社会福祉連携推進法人として参加法人の業務集約化、グループ横断的な人材育成、運営支援を行う予定としています。

介護、保育ともに、令和3年度は利用者の「待機」が本格的に減少傾向に転ずる年度であったと振り返ることが出来ます。利用者選ばれ、愛されつづける事業所を目指して、職員の量と質両面での充足、サービスの向上にこれまで以上に努力していかなくてはなりません。

2 財務状況の概要

貸借対照表

令和3年度は、純資産の部合計が、前年度比 57,792 千円増の 2,300,245 千円となりました。
 当期活動増減差額が前年度 136,061 千円から 118,891 千円となりました。

令和4年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	昨年度末	増 減		当年度末	昨年度末	増 減
流動資産	774,090	639,103	134,987	流動負債	309,837	361,803	-51,965
固定資産	3,740,837	3,837,193	-96,356	固定負債	1,904,844	1,872,041	32,804
基本財産	3,228,570	3,361,241	-132,671	負債の部合計	2,214,682	2,233,843	-19,162
その他固定資産	512,266	475,952	36,315	純資産の部			
				基本金	113,114	113,114	0
				国庫補助金等特別積立金	1,616,962	1,678,061	-61,099
				次期繰越活動増減差額	570,168	451,277	118,891
				(うち当期活動増減差額)	(118,891)	(136,061)	(-17,170)
				純資産の部 合計	2,300,245	2,242,452	57,792
資産の部合計	4,514,927	4,476,296	38,631	負債及び純資産の部合計	4,514,927	4,476,296	38,631

事業活動計算書

法人全体の当期活動増減差額が前年度比 17,170 千円減の 118,891 千円、次期繰越活動増減差額が 570,168 千円となりました。当期活動増減差額が前年度比減となっておりますが、前年度はプレミア扇拠点において固定資産の耐用年数修正を行い、特別利益 45,353 千円計上したことが主な要因としてあります。それを除くと前年度との比較で 28,183 千円増加となりました。当年度は、本部拠点区分への繰入を行い当期活動増減差額においてマイナスの拠点もありますが経常増減差額においては、各拠点において増収増益となりました。

(法人全体 事業活動収支計算書 3 年概略推移：千円)

科目	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比
サービス活動収益計	1,723,745	1,874,253	1,902,670	28,417
介護保険・保育事業収益	1,720,589	1,873,998	1,902,670	28,672
経常経費寄付金収益	3,156	255	0	-255
サービス活動費用計	1,679,313	1,774,069	1,775,728	1,659
人件費	1,063,237	1,161,924	1,164,784	2,860
事業費	246,917	247,348	264,598	17,250
事務費	247,555	239,206	217,779	-21,428
減価償却費（取崩除）	121,603	125,591	127,458	1,867
サービス活動増減差額	44,431	100,183	126,941	26,757
サービス活動外増減差額	-11,851	-9,475	-8,050	1,425
経常増減差額	32,579	90,709	118,891	28,183
特別増減差額	200	45,353	0	-45,353
当期活動増減差額	32,780	136,061	118,891	-17,170
次期繰越活動増減差額	315,215	451,277	570,168	118,891

(拠点別事業活動収支計算書：千円)

科目	本部	プレミア 扇	プレミア 草加南	プレミア 東松戸	まなびぐら 新座	合計
サービス活動収益計	0	753,851	324,283	690,534	134,001	1,902,670
サービス活動費用計	266	689,137	313,878	649,173	123,274	1,775,728
人件費支出	0	461,314	212,087	408,816	82,567	1,164,784
事業費支出	0	95,989	47,721	108,356	12,531	264,598
事務費支出	140	93,557	28,464	78,835	16,782	217,779
減価償却費（取崩除）	126	38,132	25,252	52,555	11,393	127,458
サービス活動増減差額	-266	64,714	10,405	41,361	10,727	126,941
サービス活動外増減差額	0	-124	-3,369	-5,088	531	-8,050
経常増減差額	-266	64,590	7,036	36,273	11,258	118,891
特別増減差額	296,000	-210,000	-6,000	-80,000	0	0
当期活動増減差額	295,734	-145,410	1,036	-43,727	11,258	118,891
次期繰越活動増減差額	295,261	404,005	-12,176	-83,293	-33,628	570,168

本部拠点

(本部拠点事業活動収支計算書：千円)

科目	令和2年度	令和3年度	前年度比
サービス活動収益計	0	0	0
サービス活動費用計	216	266	50
人件費支出	0	0	0
事業費支出	0	0	0
事務費支出	90	140	50
減価償却費	126	126	0
サービス活動増減差額	-216	-266	-50
サービス活動外増減差額	0	0	0
経常増減差額	-216	-266	-50
特別増減差額	0	296,000	296,000
当期活動増減差額	-216	295,734	295,950
次期繰越活動増減差額	-473	295,261	295,734

プレミア扇拠点

プレミア扇拠点を見ると、当期活動増減差額が-145,410千円となりました。前年度比248,466千円の減少となっております。その内、本部拠点への繰入金を210,000千円行い、それを除く経常増減差額で64,589千円を計上し、前年度比6,886千円の増加となりました。サービス活動収益計で前年度比10,737千円増となっております。特養、短期入所、デイサービスの利用者、職員において新型コロナウイルス感染症が発生し、受入停止の時期もありましたが、年間を通して一定の利用者稼働を維持できたこと、各種補助金・助成金を受給したことにより増収しております。サービス活動費用は4,463千円増加しましたが、事業費支出において水道光熱費高騰等による増加、浴槽改修（固定資産）による減価償却費の増加が主な要因となっております。

(プレミア扇拠点 3ヶ年事業活動収支計算書：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
サービス活動収益計	731,047	743,113	753,851	10,737
サービス活動費用計	687,381	684,674	689,137	4,463
人件費支出	459,812	462,013	461,314	-699
事業費支出	90,938	91,417	95,989	4,572
事務費支出	97,476	96,548	93,557	-2,991
減価償却費（取崩除）	39,154	34,696	38,132	3,436
サービス活動増減差額	43,665	58,439	64,714	6,275
サービス活動外増減差額	-2,407	-736	-124	612
経常増減差額	41,258	57,703	64,590	6,887
特別増減差額	2,322	45,353	-210,000	-255,353
当期活動増減差額	43,580	103,056	-145,410	-248,466
次期繰越活動増減差額	446,358	549,415	404,005	-145,410

サービス別について本部拠点への繰入金処理を行った為、経常増減差額で前年度比較をすると、特養・短期入所が前年度比-5,633千円、その他事業所（デイ、ファンビル、訪問、居宅）前年度比+12,520千円となっており、拠点全体で6,887千円増加しておりますが、特養・短期入所の収支状況が悪化しております。要因としては特養・短期入所合計の年間稼働率が前年度比1.4%減による収入減となったことが挙げられます。その他事業所においては、コロナ下ではありましたが、前年度と比較するとファンビル以外収入が増加したことが収支改善となった要因であります。

（プレミア扇拠点サービス別事業活動収支計算書：千円）

科目	特養	短期	デイ	訪問	居宅	リハ デイ	人材 育成	合計
サービス活動収益計	533,412	65,561	67,078	29,820	39,456	18,524	0	753,851
サービス活動費用計	516,998	38,656	58,840	25,341	27,251	17,587	0	689,137
人件費支出	321,902	29,512	47,546	24,848	26,972	10,535	0	461,314
事業費支出	80,678	7,157	7,107	332	199	517	0	95,989
事務費支出	79,683	4,760	5,918	792	996	1,409	0	93,557
減価償却費	31,578	1,196	1,901	391	843	2,222	0	38,132
サービス活動増減差額	19,571	22,881	4,528	3,447	10,446	3,840	0	64,714
サービス活動外増減差額	95	-105	-125	10	0	0	0	-124
経常増減差額	19,666	22,776	4,404	3,457	10,446	3,840	0	64,590
特別増減差額	40,000	-150,000	-100,000	0	0	0	0	-210,000
当期活動増減差額	59,666	-127,224	-95,596	3,457	10,446	3,840	0	-145,410
次期繰越活動増減差額	322,632	42,964	12,128	-7,269	30,203	3,348	-1	404,005

プレミア草加南拠点

プレミア草加南拠点全体では、当期活動増減差額が前年度 1,915 千円から当年度 1,036 千円となりました。その内本部繰入金支出を 6,000 千円計上しており、実質的には 7,036 千円となり、前年度比 5,121 千円改善しております。前年度比較でサービス活動収益計は 3,326 千円増加、サービス活動費用計 1,628 千円減少しました。事務費支出において給食直営化により業務委託費 8,833 千円減少、人件費支出 3,056 千円増加（調理師の直接雇用）した結果であります。

（プレミア草加南拠点 3ヶ年事業活動収支計算書：千円）

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
サービス活動収益計	314,277	320,957	324,283	3,326
サービス活動費用計	307,637	315,506	313,878	-1,628
人件費支出	194,204	209,031	212,087	3,056
事業費支出	42,914	45,125	47,721	2,596
事務費支出	44,363	36,088	28,464	-7,624
減価償却費（取崩除）	26,155	25,263	25,252	-10
サービス活動増減差額	6,640	5,451	10,405	4,954
サービス活動外増減差額	-3,530	-3,535	-3,369	167
経常増減差額	3,109	1,915	7,036	5,121
特別増減差額	0	0	-6,000	-6,000
当期活動増減差額	3,109	1,915	1,036	-879
次期繰越活動増減差額	-15,127	-13,212	-12,176	1,036

サービス別では特養・短期入所合計で、経常増減差額が前年度-16,688 千円から当年度-9,027 千円となり 7,661 千円改善しました。介護収入増加と事務費支出の減少が主な要因であります。グループホームについては前半での稼働低迷により経常増減差額で前年度比 3,013 千円の減少となりましたが年間では+11,844 千円を計上しております。居宅については安定した運営を行っており前年度比 481 千円の増加となりました。

（プレミア草加南拠点サービス別事業活動収支計算書：千円）

科目	特養	短期	GH	居宅	生計支援	合計
サービス活動収益計	162,661	46,062	94,097	21,463	0	324,283
サービス活動費用計	165,226	50,108	81,322	17,077	146	313,878
人件費支出	107,349	34,291	54,791	15,656	0	212,087
事業費支出	25,824	7,529	14,055	314	0	47,721
事務費支出	18,695	2,967	5,741	915	146	28,464
減価償却費	13,003	5,321	6,735	192	0	25,252
サービス活動増減差額	-2,565	-4,045	12,775	4,386	-146	10,405
サービス活動外増減差額	-1,805	-613	-931	-19	0	-3,369
経常増減差額	-4,370	-4,658	11,844	4,366	-146	7,036
特別増減差額	0	0	-6,000	0	0	-6,000
当期活動増減差額	-4,370	-4,658	5,844	4,366	-146	1,036
次期繰越活動増減差額	-48,247	-30,451	63,273	3,901	-652	-12,176

プレミア東松戸拠点

プレミア東松戸拠点については、前年度比当期活動増減差額が73,917千円減少しております。他拠点への繰入金支出を80,000千円計上している結果であり、経常増減差額においては36,273千円を計上しており、前年度比6,803千円増益となっております。サービス活動収益計は拠点全体で1,104千円増、サービス活動費用については4,802千円減少、人件費支出において職員数が適正人員に達せず6,083千円減少したことが主な要因であります。

(プレミア東松戸拠点 3ヶ年事業活動収支計算書：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
サービス活動収益計	678,419	689,430	690,534	1,104
サービス活動費用計	638,538	653,975	649,173	-4,802
人件費支出	402,191	415,619	408,816	-6,803
事業費支出	99,659	99,276	108,356	9,080
事務費支出	81,314	84,414	78,835	-5,579
減価償却費（取崩除）	55,372	54,666	52,555	-2,111
サービス活動増減差額	39,881	35,455	41,361	5,906
サービス活動外増減差額	-5,408	-5,265	-5,088	176
経常増減差額	34,472	30,190	36,273	6,083
特別増減差額	-2,122	0	-80,000	-80,000
当期活動増減差額	32,349	30,190	-43,727	-73,917
次期繰越活動増減差額	-69,755	-39,566	-83,293	-43,727

サービス別にみると、経常増減差額において特養。短期入所合計で前年度比 10,855 千円増加となりました。コロナ下において入所調整に手間取り稼働率が低下し合計収入では-5,605 千円となりましたが、人件費支出において年間を通して適正人員に届かず-17,015 千円となったことが収支改善の要因であります。デイサービスにおいては 90%に稼働率となり収入は増加しましたが、人件費支出も嵩み、収支としては毎年度比-3,908 千円となりました。居宅介護支援事業所においては期中に 1 名職員が退職したことにより利用者が減少し、それが人件費支出減に追い付かず、収支としては前年度比-864 千円となりました。今後、介護支援専門員 1 名補充を急ぎ、利用者獲得に努めていきます。

(プレミア東松戸拠点サービス別事業活動収支計算書：千円)

科目	特養	短期	デイ	居宅	合計
サービス活動収益計	512,939	52,714	100,163	24,718	690,534
サービス活動費用計	501,711	44,233	83,451	19,779	649,173
人件費支出	301,799	27,028	61,206	18,783	408,816
事業費支出	89,434	7,709	10,948	265	108,356
事務費支出	69,456	4,320	4,537	522	78,835
減価償却費	40,793	4,960	6,594	209	52,555
サービス活動増減差額	11,228	8,482	16,712	4,939	41,361
サービス活動外増減差額	-4,253	-410	-401	-24	-5,088
経常増減差額	6,975	8,071	16,312	4,915	36,273
特別増減差額	-80,000	0	0	0	-80,000
当期活動増減差額	-73,025	8,071	16,312	4,915	-43,727
次期繰越活動増減差額	-163,404	16,522	58,954	4,634	-83,293

まなびぐら新座拠点

まなびぐら新座拠点について当期活動増減差額で11,258千円を計上しました。前年度比10,142千円の増加となりました。定員増によりサービス活動収益計が13,249千円増加、サービス活動費用計において人件費は増加しましたが、事務費支出において広報費が減少したことにより、3,577千円の増加で推移したことが要因であります。

(まなびぐら新座拠点 事業活動収支計算書：千円)

科目	令和2年度	令和3年度	前年度比
サービス活動収益計	120,752	134,001	13,249
サービス活動費用計	119,696	123,274	3,577
人件費支出	75,261	82,567	7,306
事業費支出	11,528	12,531	1,003
事務費支出	22,066	16,782	-5,284
減価償却費	10,841	11,393	552
サービス活動増減差額	1,059	10,727	9,671
サービス活動外増減差額	61	531	470
経常増減差額	1,116	11,258	10,142
特別増減差額	0	0	0
当期活動増減差額	1,116	11,258	10,142
次期繰越活動増減差額	-44,887	-33,628	11,258

資金収支計算書

法人の現金等の動きを表す資金収支計算書は、法人全体で当期資金収支差額227,598千円を計上しました。拠点別では、拠点区分間繰入を行いプレミア扇拠点が6,241千円、プレミア草加南拠点が3,857千円、プレミア東松戸拠点が-81,612千円、まなびぐら新座拠点が3,251千円、本部拠点が295,860千円を計上しております。当期末支払資金残高では621,492千円となりました。

(法人全体 資金収支計算書 予算実績比較：千円)

科目	令和3年度 (実績)	当初予算	第二次補正予算	予算比 (第二次補正)
事業活動収入計	1,909,672	1,929,579	1,908,955	717
事業活動支出計	1,651,921	1,669,383	1,655,711	-3,790
事業活動資金収支差額	257,751	260,196	253,244	4,507
施設整備等収入計	95,598	98,943	95,461	137
施設整備等支出計	219,238	218,828	219,722	-484
施設整備等資金収支差額	-123,639	-119,885	-124,261	-621
その他収入計	103,000	0	103,000	0
その他支出計	9,513	9,228	9,520	-7
その他活動資金収支差額	93,487	-9,228	93,480	7
当期資金収支差額	227,598	131,083	222,463	5,135
当期末支払資金残高	621,492	458,459	616,357	5,135

3 その他法人運営に関する報告事項

理事会・評議員会

以下のとおり理事会、評議員会を開催し、必要な審議事項について適切に実施しました。

令和3年5月28日	理事会（書面）	令和2年度事業報告、令和2年度決算報告 次期役員(理事・監事)候補者 評議員選任・解任委員選任、定時評議員会開催
令和3年6月16日	評議員会（書面）	令和2年度事業報告、令和2年度決算報告 理事及び監事選任、理事・監事の報酬額決定
令和3年6月16日	理事会	理事長の選任、常務理事の選任 プレミアム扇改修工事借入、運営規程変更
令和3年12月3日	理事会	令和3年度第一次補正予算、経理規程改定、契約 特別養護老人ホームプレミアム東松戸管理者任用
令和4年2月25日	理事会（書面）	長期運営資金借入
令和4年3月30日	理事会（書面）	令和3年度第二次補正予算、令和4年度事業計画 令和4年度予算 就業規則・給与規程・介護休業規程変更 苦情解決第三者委員選任、契約

以降、各事業所の事業報告は事業所窓口備え付けのファイルにてご確認ください。